



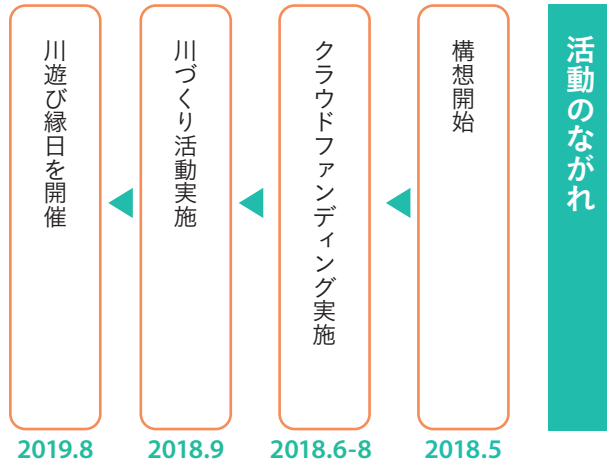
クラウドファンディングのトップページ



その後の使われなくなった状態



道の駅脇の水辺の昔の写真



活動のながれ



「魚が沢山いる楽しい川を再生したい。」そんな思いに共感してもらえる方を、ふるさと納税型クラウドファンディングで集めました。集まった資金を活用し、まずは川に触れ合う機会を増やそうと考え、道の駅の脇に親水空間を再生しました。

実施体制・スキーム

村民、応援者（魚人として認定）、自然再生の専門家で推進しました。
独自メディアでインタビュー記事を作成し、村長を巻き込み応援を頂きました。



▲ 村長インタビュー記事

全国から、資金と応援者を募集
ふるさと納税型クラウドファンディングを活用しプロジェクトを実施しまし

西栗倉村は吉井川水系の源流部に位置し、下水道も完備しているため、川の水はとても澄んでいます。しかしながら、近年、魚の数が激減したとの声が多く、村民からあがっています。魚が減った理由としては、融雪剤、人工林化など様々な理由が考えられますが、原因の特定と対策の推進には長い年月がかかります。今回は取り組みの第一弾として、まずは川に触れ合う機会を増やそうと考え、道の駅の脇の親水空間の再生に挑戦し、石の配置変えにより、出水時に魚の逃げ場となる流れの緩やかな場をつくりました。



生物調査

た。西栗倉村の挑戦と、それを応援する村外の関係人口をつなぐクラウドファンディングでありながら、ふるさと納税を活用することで負担が少なく応援頂けるように工夫しました。（税控除により、寄付者の負担は2000円のみ）。クラウドファンディングを開始後、たったの6日間で、目標金額の100万円が集まりました。応援者は106人。「応援する機会を作ってくれてありがとう」とのコメントも頂戴しました。

経緯・目的

西栗倉村が川の再生モデルに
なってみせる！



岡山県 / 吉野川

よしのがわ

魚もいない川なんて 退屈すぎるぜ！ クラウドファンディングの活用

Profile



【河川名】
吉井川水系吉野川
【執筆者】
岡野豊（エーゼロ株式会社）

■ 川に繁茂していた葦を刈り、堆積していた石を川岸に寄せる事で、昔存在した川遊び場を道の駅の脇に再生しました。

■ 既存の巨石を活かし多段式の低落差を多数設けて、流れが緩やかな浅瀬を確保しました。前後区間は急こう配で流路幅もないため、浅瀬がハビタットとして欠落していました。



堆積していた石を岸に寄せる

■ 寄り洲部分の上流端に大きな石を配置して洲が維持しやすく、ト口場・植生帯が確保されるように工夫しました。

■ 造り込みすぎず、洪水時に攪乱されて自然の景観として馴染むように配慮しました。



隠れ家となる石を配置

施工後の維持管理や利活用の工夫

川づくり緑日の開催

取り組みの翌年度（2019年）の夏に川遊び緑日を開催し、200人を超える人が来場し、川遊びを楽しみました。

道の駅を川遊びが出来る場所に

緑日以外にも、道の駅に寄ったお客様が、連日川遊びを楽しんでいます。



川遊び緑日ポスター



現場のキーパーソン

道端 慶太郎さん エーゼロ株式会社 自然資本事業部

自然環境の専門家、かつデザイン／クリエーションを担当。クラウドファンディングの募集ページ、応援して下さいの方に贈る魚人証、川遊び緑日ポスターなどを作成してくれました。楽しい雰囲気人で人を惹きつける天才です。



効果（一次効果・二次効果）

子供達の心に残った！

本取り組みにインスパイアされた、村の子ども劇団「いろどり」が、魚のいる川の再生をテーマにミュージカルを作成しました。2か月に渡る練習の後、村の人たちに向けて発表！

村の政策を動かした！

本活動で、村長を巻き込み応援を頂いたことで、川の再生に対する地域の意識が向上しました。SDGsモデル事業の一環として、溪畔林を含む多様な森づくりを進める事を議論しています。豊かな森を再生し、魚の沢山いる川の再生を目指していききたいと思います。

『いろんなおさかなもどっておいで！』



ミュージカルのテーマに



SDGs モデル事業

使用材料・工具・造り方

施工内容	ねらい
a: 護岸の草刈り	・ 匂の里からのアクセス環境の改善
b: 河道内にまばらに点在していた礫を左岸側へ移動し、左岸側の細流を埋め立て	・ 匂の里からのアクセス環境の改善 ・ 川遊びのしやすいデザイン
c: 巨礫を堰前に配置	・ 遊泳時の危険回避
d: 礫で水制を作成	・ 川遊びのしやすいデザイン ・ 魚類・底生動物などの生息環境としての浅瀬の創出
e: 巨礫をまばらに配置	・ 魚類・底生動物の生息環境としての淵の創出 ・ 増水時の魚の避難場所
f: 左岸に再び流れができるのを防ぐ水制	・ 施工後の維持管理コストの軽減

